

都市再生整備計画 事後評価シート
一宮駅周辺地区

平成26年3月

愛知県一宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	一宮市	地区名	一宮駅周辺地区			面積	390ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	5,402百万円	国費率	0.339		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路:新一宮尾西線道路改築事業、新一宮尾西線自転車利用環境整備事業、公園:稲荷公園整備事業、毛受緑道整備事業、地域生活基盤施設:交流・文化拠点整備事業(立体駐車場)、高次都市施設:交流・文化拠点整備事業(市民活動支援センター、観光案内所、交流スペース)						
		提案事業	地域創造支援事業:交流・文化拠点整備事業(中央図書館)、事業活用調査事業、事業効果分析調査						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:奥末広線電線共同溝整備事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	なし		平成22年12月の市長改選による政策の見直しにより、整備時期が先送りになり、関連事業として実施することとしたため。			指標2『安心・安全な歩行者空間利用エリアのカバー率』に影響あり。	
交付期間の変更	当初	平成21年度～25年度	変更		平成 年度 ～ 年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		
	基幹事業	①地域生活基盤施設:一宮駅周辺自転車等駐車場整備事業 ②地域生活基盤施設:交流・文化拠点整備事業(コンコース、シビックテラス、パティオ(屋上庭園)) ③高次都市施設:交流・文化拠点整備事業(子育て支援センター)		①一宮駅周辺における自転車の路上放置、自転車等駐車場の過度の混雑解消、自転車盗難に対処する防犯性の改善を目的とした、安全・安心なまちづくり実現の目標に合致する本事業を新たに追加する。 ②③当初、(仮称)尾張一宮駅前交流・文化拠点に予定していた屋内空地の配置が確定したため交付対象事業として新たに追加する。			①指標5『自転車盗難発生件数』に影響あり。 ②③指標1『歩行者通行量』、指標4『図書等貸出者数』に影響あり。		

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	歩行者通行量	人	4,057	H20	4,462	H25		2,970	△	あり なし	交流・文化拠点施設(i-ビル)等による歩行者増効果は発現したが、商業地全体の歩行者が増加するほどには至っていないと考えられる。	H.26 5月
指標2	安心・安全な歩行者空間利用エリアのカバー率	%	6.1	H20	8.8	H25		8.5	△	あり なし	地区内道路整備量が想定よりも少なく、目標値を達成するに至らない状況になった。基幹事業の市道整備は計画通りに進捗したが計画整備量には至らなかった。	H.26 5月
指標3	イベント開催回数	回	4	H20	10	H25		8	△	あり なし	公園整備中であるため、十分な活用が図られていない状況にある。 公園整備が完了した時点では、関係団体等の協力により目標値を達成するイベント開催が期待される。	H.27 3月
指標4	図書等貸出者数	人	171,116	H19	386,560	H25		483,222	○	あり なし	中央図書館の整備とその他の交流・文化拠点施設等の相乗効果により、目標を上回る図書等貸出者数を実現している。	H.26 5月
指標5	自転車盗難発生件数	件	198	H21	20	H25		26	△	あり なし	自転車駐車場の整備により自転車盗難件数の減少効果は発現しているが、目標値を達成するには至っていない状況にある。自転車の施錠等の防犯対策の状況が影響していると考えられる。	H.26 5月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況

指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値			
その他の数値指標1	%	13.0	H20		25.8		賑わいの意識調査結果は低下傾向にあったが、本事業期間に上昇に転じており、賑わい創出効果が着実に発現したと考えられる。	H.26 5月
その他の数値指標2	%	8.0	H20		21.7		多機能で魅力があるという意識調査結果は低下傾向にあったが、本事業期間に上昇に転じており、魅力創出効果が着実に発現したと考えられる。	H.26 5月

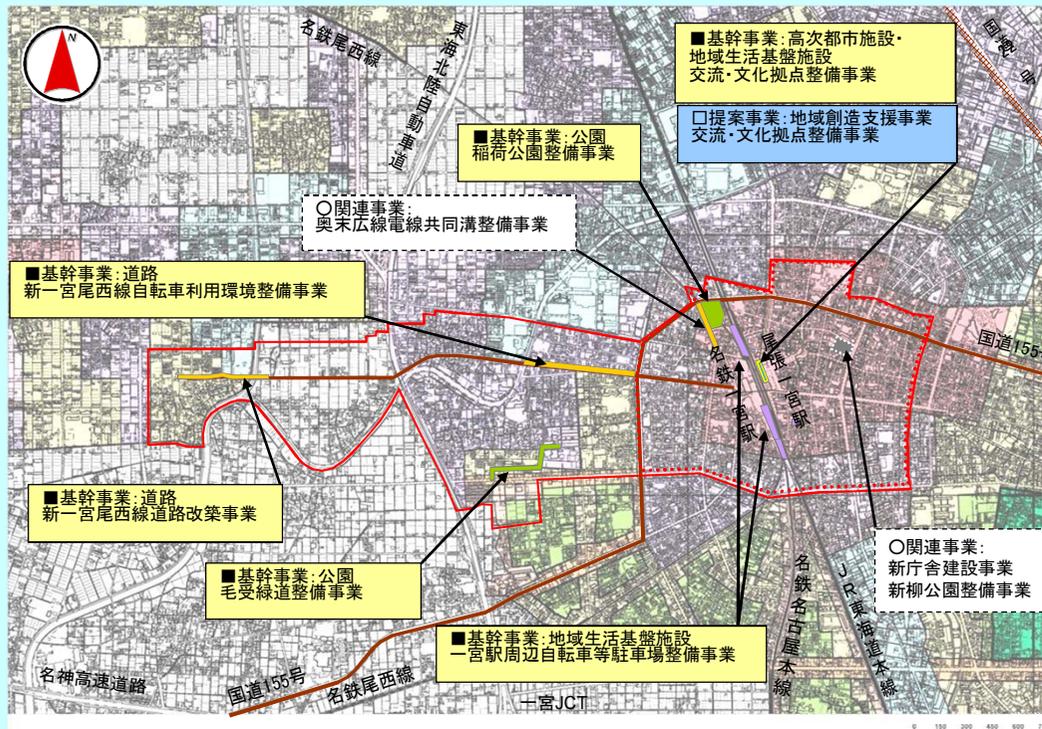
4)定性的な効果発現状況 ○i-ビルの整備により、一宮駅前のイメージ・雰囲気が大きく変わり、本市を代表する景観を確保することができている。

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		モニタリング	住民参加プロセス	
5)実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	持続的なまちづくり体制の構築	尾州おまつり実行委員会(フリーマーケット・朝市、チャリティライブ、ミニサッカー大会等を開催) まちこん一宮(共通駐車券、七夕祭り舞台・クリーンアップ・にぎわい広場、オープンカフェ等を開催)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	● まちづくり活動等の継続と支援検討

様式2-2 地区の概要

一宮駅周辺地区(愛知県一宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 駅周辺のストックを活かした歩いて暮らせる中心市街地・にぎわい再生まちづくり 目標① 市の玄関口である駅前に、交通結節点としての利便性を活かし、新たな交流の生まれるにぎわい空間を創出する 目標② 快適で安全・安心なまちづくり実現のため、駅周辺施設整備等により都市機能の増進、利便性・回遊性・防災性の向上を図る 目標③ 中心市街地へ訪れやすくなるため、各種交通手段による中心市街地へのアクセス性の向上を図る	歩行者通行量	単位: 人	4,057 H20	4,462 H25	2,970 H25
	安心・安全な歩行者空間利用エリアのカバー率	単位: %	6.1 H20	8.8 H25	8.5 H25
	イベント開催回数	単位: 回	4 H20	10 H25	8 H25
	図書等貸出者数	単位: 人	117,116 H19	386,560 H25	483,222 H25
	自転車盗難発生件数	単位: 件	198 H21	20 H25	26 H25
	駅周辺が賑わっていると思う人の割合	単位: %	13.0 H20		25.8 H25
	駅周辺が多機能で、魅力があると思う人の割合	単位: %	8.0 H20		21.7 H25



□ 提案事業: 事業活用調査 事業効果分析調査

○ 関連事業: コミュニティ活性化事業 チャレンジマート事業 一宮商人強化、育成事業 中心市街地商業施設立地促進支援事業 バリアフリー基本構想



凡例

■	基幹事業
□	提案事業
○	関連事業

まちの課題の変化

■ 達成されたこと(課題の改善状況)

① i-ビル等の整備により、駅前が持っていた集客力を顕在化させるとともに、自転車駐車場等の整備によって歩行者空間が充実し、駅周辺の賑わいと魅力の向上を実現することができた。

② 総合的な都市施設の整備を行い、中心市街地の利便性向上と都市機能の強化が図られたことにより、i-ビル内に新たな商業施設の立地が図られ、駅周辺においても分譲マンションの建設、飲食店の出店が増加した。

■ 残された未解決の課題

① 駅前以外への波及効果が不十分であるため、中心市街地の一部区域での歩行者交通量の減少傾向が続いており、中心市街地全体での賑わいの創出が不十分な状況である。

② 既存商業地等での民間投資(商業等の活性化や店舗立地促進等)をより一層向上する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

① i-ビル等の利活用の継続的な充実・発展を図る。(イベント等の開催)【にぎわい創出支援(イベント開催等を促進するための環境整備)(空き店舗活用や出店を促進するための環境整備)】

② 自転車駐車場等の維持管理の継続と防犯対策の充実を図る。【防犯活動支援(自転車駐車場の盗難対策の啓発・環境整備)】